



るるてる



2022 年
1 月
No.889

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631
■ウェブサイト■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 李 明生 koho@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円（郵税を含む）
■振替口座■ 00190-7-71734

説教「日々新たにされて」

日本福音ルーテル小石川教会・板橋教会 牧師 徳野昌博

「だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの『外なる人』は衰えていくとしても、わたしたちの『内なる人』は日々新たにされていきます。」

コリントの信徒への手紙二 4・16



私たちは、「贖われし罪人」です。ですから、日々新たにされて生きるのです。

イザヤ書43章で、天地万物を創造された主なる神様が、いきなり、何の条件もなく付けず、「恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの（1節）」と言っています。まことに驚きです。「贖う」とは、神様が、神のものとなった私のすべてを引き受けてくださる、責任をとってくださるということです。

神様に背いて、どうにもこうにも言うことを聞かない私のために、イエス・キリストが十字架で死んで私の罪を贖ってくださいましたのです。イエス様の十字



レンブラント作「写字台の聖パウロ」（1629-1630年）
ニュルンベルク・ゲルマン国立博物館所蔵

架によって、決定的に重大な問題が解決されたのです。創造主である神様に背いているという、これ以上、私たち人間にとつて重大、深刻な問題はありません。その罪を、父なる神様は御子イエス・キリストにおいて解決してくださいましたのです。これが、私たちと与えられた救いです。まことに有り難いことです。これこそ、わが人生最もビッグでグッドなニュースです。

神様は続けて、「わたしはあなたの名を呼ぶ」と言っておられます。「名を呼ぶ」と言うことは、一人一人に対して、神様が一对一で向かい合い、覚えていてくださるということなのです。

救いは、私たち人間の側のどのような事態、どのような問題によっても取り消されたりはしません。パウロが、「ローマの信徒への手紙」8章で、「わたしは確信しています。死も、命も、天使も、支配するものも、現在のものも、未来のものも、

力あるものも、高い所にいるものも、低い所にいるものも、他のどんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスによって示された神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのです」（38〜39節）と言っている通りです。ですから、たとえ私たちの体や心がどんな状態になっても、私たちは決して滅びることではなく、神様の愛の中にちゃんと、しっかりと受けとめられているのです。

神様は、無条件で、「わたしはあなたを贖う」と約束してくださいています。神様の、その絶対の恵みを知り、信じることで、それによって本当に喜び、平安に生きることができるといふのは、礼拝を通して与えられる恵みです。やがて、もうどうするともできなくなるであろう時のために、今ここで、私は礼拝において神様との本当に深い交わりを持ちたいと願っています。礼拝に出席することが困難になつて、初めて私たちは礼拝に出席し、仲間と顔と顔を合わせるということがどんなに幸いなことであるか、どんなに大きな恵みであるかというのを身にしみて思い知らされました。

「わたしたちの外なる人は衰えても、内なる人は日ごとに新しくされていくのです。自分で、自分の力、頑張りで新しくなるのではなく、神様が新しくしてくださいます。だから、わたしたちは落胆しないのです。」



伊藤早奈

②「音」

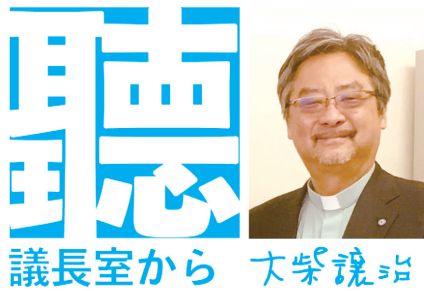
「門番は羊飼いは門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。」
（ヨハネ福音書10・3）

なんだかうるさく聞こえる物音でもその原因や主（ぬし）がわかり物音をさせるその理由までわかるとうるさく感じなくなつたことありませんか？私はありません。毎朝聞こえる小鳥の鳴く声が甲高くうるさく感じてました。先日観ていたテレビ番組で私が毎日聞いてうるさく感じていた小鳥の声を解説されていた何の小鳥がどのような理由で鳴いていたのか、あなたがたのわがかりました。その小鳥の正体と鳴く

理由がわかった途端、朝聞く「うるさい音」が「かわいい鳴き声」に変わりました。
大切な大切な存在なら尚更だろうなと思って思います。こんなことも思い出します。ある食品売り場で、きつと迷子になつたんだらうなあと、思う様な小さな子が「ママ」と呼びます。するとどこからか見えないのに「なーに？」って聞こえ「ママどこにいるの？」と子どもが安心したように走り出す光景です。
きつと神様も同じだろうな、いやもつと一人一人を大切にされているのかもしれないと思うと私の声も神様にとつてはうるさいその他大勢の声ではなく大切な大切なかけがえのない一人の私という存在の声なのかなって嬉しくなります。

そして私を大切にしてくださる神様の声は、いつもあなたと共にあなたを包んでいて下さるから、あなたに心地良い音なのでは。

JELA Online Charity Concert 21→22
JELA クリスマス&ニューイヤー
オンライン・チャリティ・コンサート
2021→2022
主催：一般財団法人 JELA
2021/11/27(土)～2022/1/15(土)
毎週土曜日12:00から
JELA公式YouTube
チャンネルにて
無料配信♪



的な語である。根源語の一つは「われ」ー「なんじ」であり、他は「われ」ー「それ」である。」(マルティン・ブーバー「我と汝」野口啓祐訳、講談社学術文庫2021、8頁より)

安倍川上流にあった

「われとなんじ」と「われとそれ」

「ひとは世界にたいして二つのこととなった態度をとる。それにもとづいて世界は二つとなる。ひとの態度は、そのひとが語る根源語の二つのこととなった性質にもとづいて二つとなる。根源語は孤立した語ではない。複合

梅ヶ島ルーテルキャンプ場で、学生時代にある方から教えていただいたブーバーの「我と汝」。この本との格闘を通して私は対人関係の基本を学んできました。原著『Ich und Du』(1923)がドイツ語で出版されて来年でちよう

語は「言葉」を意味すると同時に「出来事」を意味します。言葉を語ることは出来事が起こることでもある。根源語「われーなんじ」は相手を人格的な応答関係の中に捉えるダイアローグ的で全人的な態度。根源語「われーそれ」は相手を徹底的に自分の経験・利用の対象として捉えるモノローグ的な態度。前者の例としてブーバーはソクラテス、ブツダ、イエス、ゲーテを、後者の例としてナポレオンを挙げます。もちろん、物質が悪ではないように「われーそれ」を語ること自体は悪ではありません。「われーなんじ」関係は過ぎ去つてしまつたと「過去の記憶」という「それ」になつてしまう。彼はそれを「大いなる悲哀」と呼びます。「われーなんじ」の出会いとは天からの恩寵であつて人間が探し求めることによつて獲得できるものではありません。「すべての真の生とは出会いである」。

現から分かるように、ブーバーは「なんじよ(Du)」と親しく呼びかけてくださる神を「永遠のなんじ」と呼び、個々の具体的な「われーなんじ」の出会いを通して永遠のなんじが私たちに呼びかけておられると見ているのです。

新しい年も、耳と目と心をつにしてそれらを十分に用いて神の声に聴いてゆきたいと念じています。この主の年2022年が、皆さまお一人お一人にとって「永遠のなんじ」の豊かな対話という祝福のうちに置かれた1年でありますようお祈りいたします。



「教会讃美歌 増補」解説



⑨増補9番「天にいます父よ」・増補10番「主はヨルダンに来て」

讃美歌委員会

石丸潤一

(西日本福音ルーテル新田教会)

新しい年を迎え、皆さんいかがお過ごしでしょうか。私は、新年を迎える度に、新しくなることの期待感と、一方で、移りゆく時の中でも変えずに継続していくべきものの大切さを

思います。今回ご紹介する2曲は、神様から信仰者が与えられているその二つの相反することについて深く味わわせてくれるカテキズム・コラールではないかと思ひます。

増補9番「天にいます父よ」は、「教会讃美歌」364番に収録されているなじみ深い「主の祈り」の賛美です。今回は、他のカテキズム・コラールとの関連曲として、新しい訳詞と9節を加えて収録しました。2と8節の「求め祈ります」と

いう締めくくりに詞には、関連性とリズム感を持つて「主の祈り」の一つの祈りが私たちに何を教え、何を神様に求めさせるのかをよく知ることができるようになっている意図が込められています。

イエス様が教えてくださった「主の祈り」は、私たちの信仰生活に欠かせない、継続していくものです。であるからこそ、「小教理問答」とカテキズム・コラールを通して、いつも祈りの意味をかみしめながら、祈り続けることが大切ではないでしょうか。

増補10番「主はヨルダンに来て」は、洗礼の意味について教えるカテキズム・コラールです。1月の教会暦には「主の洗礼」を記念する主日が備えられています。この賛美は、イエス様の洗礼の場面を踏まえていますので、その頃に賛美されるのにも良い曲ではないでしょうか。

洗礼は、神様が私たちに、みことばと聖霊と共にある水を通してみずから授けてくださる恵みの礼典です。私たちは等しく罪の中に沈み、自分の行いでは浮上することのできない者です。しかし、神様の恵みを信じて洗礼を受ける時、キリストの血潮が大波のようになつて私たちの罪を押し流し、罪の深淵から命の日々へと救い出してくださいます。水のイメージが要所にちりばめられたこの賛美は、洗礼を通して、私たちの命が全く新しくなっているというダイナミックな喜びのイメージを生き生きと感じさせてくれるでしょう。

世界の教会の声

浅野直樹Sr.
(世界宣教主事
市ヶ谷教会・スオミ教会牧師)

気候正義を求めるLWFユース

11月英国のグラスゴーでCOP26が開催され、地球の気候変動対策が議論されました。LWFは2011年来国連の気候関連会議に青年代表を派遣していますが、今回の会議ではオンライン出席を含めると、7つのLWF区域すべてから

参加者があり、過去最大の32名の代表が出席しました。

会議では地球の気温が産業革命前より1.1度上昇したことへの警鐘が鳴らされ、気温上昇をパリ協定で定めた1.5度に抑えるという努力目標を追求することが採択されました。これについてLWF気候問題担当Elinor Collins氏は「石炭火力を使い続ける限り達成は危うい」、さらに「各国政府が設定した2030年の温室効果ガス排出量削減目標は不十分で、このままだと2050年には2.4度に達してしまう」と述べています。



COP26に参加したLWFユースメンバーら

LWFが、気候変動(climate change)とあわせて呼びかけているもうひとつの用語に「気候正義」(climate justice)があります。日本ではまだ馴染みが薄い言葉ですが、気候変動が環境問題だけでなく、倫理的、政治的問題でもあることを訴えています。経済大国による大量の排出ガスの影響で、排出量が少ない多数の国や地域が犠牲になつているといった問題が顕在化しつつあります。COP26では、そうした地域の少数民族の役割も欠かせないという認識が得られました。

参考記事のURL
<https://www.lutheranworld.org/news/cop26-1-wf-delegates-disappointed-not-disheartened-lac-k-results>

第3回オープンセミナー報告

河田優
(ルーテル学院大学・
日本ルーテル神学校
チャプレン)

第1部は、神学校での
学びと生活についての紹
介が中心です。特にミニ
講義では平岡仁子牧師
がコロナ禍におけるオン
ライン礼拝について取り
上げ、神学校で学ぶ礼拝
学は私たちの礼拝生活に
直接結びついていること
を話されました。

第2部では、神学生が
考えた楽しい企画に2人
の若手牧師も加わり、互
いの紹介やミニゲーム、
質問コーナーなど和気あ
いあいと交わりが進めら
れていきます。最後は、

神学校1年生2人がそれ
ぞれの証しも含めて閉会
礼拝を行い、祈りを合わ
せました。

神様の導きとして神
学校での学びを考える人
たちがいます。その人た
ちを支え、後押しするの
はそれぞれの教会です。
どうぞこれからも教会か
ら、神の働き手としての
献身者を送り出してい
たきますようにお願いい
たします。

以下、今回の参加者か
らお2人、感想を書いて
いただきました。

今回、初めてオープン
セミナーに参加させて

頂きました。始まる前は
どのようなことを知れる
のか、学べるのかと胸を
躍らせておりましたが、
実際はその期待を上回る
ほどの有意義な時間とな
りました。特に神学生や
牧師への質問コーナーで
は先に提出していた質問
全てにお答えしていただ
き、良い情報を得ること
が出来ました。ここで得
たことを糧に神学校での
学びの準備をしていき
たいと考えております。こ
のような機会に私を送
り出して下さった崔大凡
先生や室園教会の方々、
企画をして下さった神
学教育委員会と神学校

の先生方に感謝します。
(中山隼輔・JELC室園
教会)

私は洗礼を受けて以
来献身への迷いがあつた
ため、神学生オープンセ
ミナリーに参加させてい
ただきました。模擬講義
では現代のコロナ禍を通
して改めて礼拝の意義に
ついて考える機会を与え
られ、交流会では牧師先
生や神学生の方々との貴
重な交わりの時を持つこ
とができました。さらに
牧師を目指す上での大
切な気づきと励ましも与
えられました。オープン
セミナーに参加して

献身者がおこされるために

―取り組みの紹介とお願い―

三浦知夫
(神学教育委員長・
東京池袋教会牧師
小林千恵子(大垣教会
徳弘由美子(岐阜教会

学校の先生になりたい
と思つたら、大学などに
入学して、教員免許を
取得できる学びを始めよ
うとするでしょう。では、
牧師になりたいと思つた
らどうでしょうか。同じ
ように神学校に入学し
て、その準備を始めます
が、その前にキリスト者

として教会生活を送つて
いるという前提があつて
所属している教会の牧師
に推薦をしてもらわなけ
ればなりません。牧師は
他所から採用したり派
遣されるのではなくて、
私たちそれぞれの教会の
中からおこされるからで
す。各教会が献身者を
神学校に送り出さなけ
れば、牧師は誕生しない
ということでもあります。
昨年、私たちの教会に
新しい牧師が与えられ
ませんでした。今年の

春も予定はありません。
そのような状況の中で、
教会と神学校が協力し
て、「献身者を求める祈
り」の動画を作成したり、
礼拝で「献身者を求め
る祈り」をしていただ
くようにお願いしたりし
てきました。

そんな中、大垣教会
と岐阜教会信徒の有志
の方々が「自分たちに
も何かできないか」と祈
り考え、写真のような
フレームを作成してくだ
さっています。御言葉と
クイリングという手芸の
十字架、そして呼びか
けの言葉が記されたフ
レームです。各教会の集
会室の壁や玄関に下げ

たり置いたりし、いつも
教会の方々の目に留ま
り、献身を掛け考え
るきっかけになればと
願つてのことです。
この運動を受けて、
私とこれら有志の方々
からお願ひがあります。
この企画をお手伝い
いただけませんか。こ
の取り組みを、神学教
育委員として喜びつつ、
祈りと奉仕が全国の教
会に広がってい
くことを願つて
のお願いです。
教会でも個人で
も構いません。
案内やフレーム
の個別の封入や
発送を全国一



集計表男女区分の 廃止について

小泉基
(社会員長・函館教会牧師)

今まで漠然としていた献
身への思いが少しだけ形
づくられた気がします。
今後どうなっていくかは
わかりませんが、神様に
祈りつつ歩んでいきたい
と思います。
(鷲見和哉・JELC大阪
教会)

昨年11月16日の全国常
議員会で、「集計表にお
ける人数表記の件」が決
議され、来年度の新しい
集計表から男女区分をな
くすることが決まりました。
今回もオンラインで行わ
れた常議員会でしたが、
議場では活発な意見交換
が行われましたから、提
案の背景と主な意見をこ
紹介したいと思います。

今回の提案の直接的な
きっかけは、昨年7月に
社会委員会が提出した
『本教会統計表における
男女区分の扱いについて』
という要望書でした。け
れどもそれ以前から教会
内で、礼拝の受付で男女
の二者択一を迫ることが、
性的マイノリティの人たち
に苦痛を強いているの
ではないか、という声が聞
かれるようになっていま
した。実際に、受付での
男女区分

分をなくしたり、週報等
での兄弟呼称を「さんづ
け」に統一した、という報
告も聞かれるようになって
いました。委員会が、
そうした背景をより多く
の人に知っていただきたい
と2020年3月に発行
したのが「多様な性を知
るために」という小冊子
です。ひとくちに性的マ
イノリティといっても、そ
の内実は、体の性、性自
認(心の性)、性的指向、
表現する性など、多岐に
わたっています。多様な性
のあり方を知りながら、
そうした方が安心して
受け入れられる教会形成
をしていきたいという願
いがありました。また教会
は、歴史的に同性愛を罪
として断罪してきた経
験があり、それはルー
テル教会が1988年に発
行した「教員ハンドブック」
にも反映されてしまつて
います。委員会の小冊子
の発行と、常議員会への
要望書は、そうした教会
の歩んできた歴史に対
する反省の上になされた
ものです。常議員会では、
男女比率がわからなくな
ることが女性の社会進出
を妨げるのではないかと
男女の他に「X」欄を設
けてはどうか、教会の宣
教計画の立案に影響す
るのではないかとした意
見も出されましたが、
痛みを覚える方々に寄
り添う

ことを優先しようとする
意見が大勢を占めました。
もちろん、この決定が何
かをすぐに解決するとい
うものではありません。
これをきっかけに、教会
内でさまざまな学びや取
り組みがすすめられてい
くことが、委員会とし
て願っていることです。
から、どうぞ協力お願い
する次第です。(なおパ
ンフレット「多様な性を知
るために」は、日本福音
ルーテル教会インターネッ
トサイトでPDFが公開
されていますのでご活用
ください。また冊子版も
事務局に多少残部があり
ます。必要な方は事務局
までお問い合わせ下さい。)

2022年度教会手帳 住所録訂正のお願い

2021年7月31日
付で引退されました太
田一彦先生について、2
022年度教会手帳住所
録の《引退》欄への掲
載がなされております
ので、お詫び申し上げ
ますと共に、謹んで訂
正させて頂きます。

2022年度教会手
帳住所録20頁に以下を
追記ください。

太田一彦
42010886
静岡県静岡市葵区大岩
2-41-14

第7次総合方策の紹介(9)

事務局長 滝田浩之

■方策本文より

第7次総合方策主文

5. 信徒の働き

(1) 信徒の役割

①宣教の働きは、教職、宣教師だけに与えられたものではなく、教会の全信徒に与えられている。信徒は宣教の担い手であり、受け身の立場ではなく、積極的・能動的に福音宣教に参加する。信徒が牧師とともに宣教に具体的に参与する道筋を整える。

②信徒の「相互牧会力」を育てることは教会成長にとつて大きな意味があることを確認し、具体的な研修プログラムを神学校と共同して検討する。

③宣教を推進する担い手としての自覚の育成について、各委員会等、その専門性を生かし、プログラムを策定し実施する。

④信徒説教者については「信徒説教者実施要項」について、信徒の執事としての働きとしての「み言葉の奉仕」として位置付けると共に、信徒の執事職(信徒奉仕者)をより幅広く教会の中で理解していくことも含めて、改正を検討する。

⑤配餐補佐についても「信徒説教者実施要項」の中で、神学的な課題についても整理した上で適切に位置付けていく。

⑥教会の執事的働き(管理や事務など)については、個々の教会、あるいは教区内で今後、有給の可能性も含めて検討され位置づけられていくものと考ええる。

6. 教職の役割

(1) 現任教職

現在、教職の働きは、多重責任・役割、多様化、孤立化の傾向にある。教職としての守備範囲が解りづらくなっており、職務の明確化が求められる。

①宣教する教会であるためには、それぞれの教職が宣教への使命と職務を的確に果たすことが重要である。そのためにも神学的自己研鑽に取り組み、宣教と教会形成への責務を自覚することが求められる。

②「牧会力の成長」を促すことは教会の責任として捉え、本教会としても按手後、5年以内の教職については継続的な研修プログラムを神学校と共同して検討していく。

③人事配置については人事委員会がその実務を担っているが、教会財政も加味しつつ、全体的宣教力を図り、個々の教会、地区の将来像について教区の方性を加味しつつ、常議員会の責任のもと確認していく。宣教拠点(2か所)教会、または施設までを二つの目安として用いることができる。

④牧師の重要な任務に「役員会の形成」を明記する。

役員会の成長こそ、牧会力の回復につながることを確認する。

⑤職務を果たしていくために、健康管理への自覚的取り組みが必要であること

を認識し、必要な手立てを教師会と共に検討する必要がある。

⑥教職の立場を教会の制度と組織に正當に位置づけると共に、教職の質の向上を高めるために必要な機会を、本教会、教区及び教師会は適宜提供していく。

(2) 定年教職

① 資格

日本福音ルーテル教会の教職は定年制度に従って70歳を迎えて現職の務めから退いてきたが、これまでの実態と課題を整理した上で、「牧会委嘱規定」を見直し、主任の委嘱についても検討する。また、定年後も「説教と sacrament」を行う資格を持つ者として、教区の主体的な判断の中で日本福音ルーテル教会の教職としての責務を果たすことを期待する。

② 働き

定年教職が教区及び関連施設の要請に応じ、期間を限定して牧会委嘱、巡回説教者、チャプレン等を担い、それによって宣教の働きが補われ、支えられていることに、全体教会として感謝する。

■解説

宣教とは何かが明確に

確認されたところで、その具体的な担い手が確認されています。

このことを考える上で重要なのは「宣教の働きは、教職、宣教師だけに与えられたものではなく、教会の全信徒に与えられている」、この文言につきま

す。「全信徒祭司性」です。宣教は教職と信徒の共働の業であることを確認したいと思っています。

第7次総合方策では、これまで目明のこのよう

に行われてきた信徒奉仕の働きを、教会の働きとして再確認していく必要があると考えています。教会はこれまで有形無形の信徒たちの働き、献財、祈り、奉仕によつて支えられてきました。そしてこれからも、その支えがなしには教会は宣教の働きをなすことができ

ません。一つ一つのそのような働きをきちんと確認して、次の世代に手渡していく。そこで大事なことは、今まで通りの形では手渡すことは難しいということだと思

います。変えられないものを見定め、変えられるものは大胆に変えていくことが求められています。

同じように教職の役割も節目を迎えています。戦後、多くの宣教師とキリスト教フームの中で与えられた多くの牧師(両方合わせて200名)で支えられ

てきたルーテル教会は現在、現役の牧師は80名となっています。この面からも持続可能な教職の働き方を考えていく時が来ているのです。

この共働の業を担う「役員会」の働きは、これからさらに大きなものになると考えます。同時に「役員会」がきちんと機能できるか否かが、その教会を組織として維持できるか否かも担っていることとなります。

第28期第15回 常議員会報告

事務局長 滝田浩之

11月15〜16日にオンライン会議にて行われた標記の件について報告いたします。

(1) 協力金の件

2022年度から10%に戻す予定であった協力金ですが、2021年度のCOVID-19による非常事態宣言が想定以上に長引いたことを鑑み、引き

続き8%に据え置くことが承認されました。但し、建築会費からの一般経常会計への繰入について協力金算定に含めないという措置

については2021年度で予定通り終了とすることを確認しました。なお2023年度は10%に戻すことを予定しています。

(2) 集計表の件

2021年度の集計表

より教勢報告について男女の区別を廃止することが承認されました。詳しくは社会委員会からの報告をご覧ください。

またインターネット礼拝の出席者と対面による礼拝の出席者を区分して記入できるように集計表が変更されています。イン

ターネット礼拝の出席者とは、基本的には主日礼拝にオンラインで同時参加くださっている方と理解しています。また二つのPCで複

数の参加がある場合のカウンントについては個々の教会のご判断に委ねたいと思います。

(3) 定期総会の件

2022年5月3〜5日に予定されております定期総会については、すでに「ガイドライン」で確認

しています通り、2か所に参集し、また2泊3日での開催を準備しています。会場に

ついては400名収容の会場に200名の出席議員

とするなど、感染予防対策を徹底した上での開催となります。当然、感染拡大の中で開催が難しいということになれば更に延期というところも確認しているところ

です。

(4) ルーテル学院大学からの長期貸付の受入の件

ルーテル学院大学の積立資金の一部を、日本福音ルーテル教会の収益会計が長期貸付金として受け入れることを確認しまし

た。このことによつて教会側は大学側に利息という形で支援することになります。教会としては予定されております市ヶ谷耐震工

事について銀行からの借入を減少させることで借入に伴うリスクを軽減できることになります。契約内容については市況一般的

な利息を適用することで教会と大学で合意が行われているところ

(5) 市ヶ谷耐震補強工事の件

定期総会での議案とな

る市ヶ谷耐震補強工事については、収益部門の減収に伴い計画を見直し、事業費を1億5千万円ほど減少させる案が財務委員会より提案されました。事業

費を当初の9億円から7億5千万円とし、耐震補強工事に特化することとしました。定期総会での審議をお願い申し上げます。

(6) 人事案件

教師資格者であった坂本千歳牧師が嘱託任用での復帰願いを出され、面接の後、これが承認されまし

た。関野和寛牧師については一般任用から嘱託任用への任用変更願が提出され、これが承認されました。加えて12月1日付けで津田沼教会(主任牧師・小泉嗣

牧師)に嘱託任用での任用が承認されました。関満能牧師は9月1日付けで水俣教会、八代教会、阿久根教会の主任牧師に病気休職から復職が承認されま

した。

2022年度 日本福音ルーテル教会 会議日程予定

2022年			
月	日	会議名	場所
2	15〜16	会計監査	市ヶ谷
	21〜22	28-16常議員会	市ヶ谷
3	7	神学教育委員会(調整あり)	市ヶ谷
	11	ルーテル学院大学・神学校卒業式	三鷹
4	21	教区総会	各教区
	未定	ルーテル学院大学・神学校入学式	三鷹
5	3〜5	第29回、第30回全国総会	市ヶ谷 (予定)
6	未定	LCM会議	未定
	13〜15	30-1常議員会	市ヶ谷
8	23〜24	(予定)るうてる法人会連合総会	九州地域
10	5	教師試験委員会(調整あり)	市ヶ谷
11	14〜16	30-2常議員会	ZOOM
2023年			
月	日	会議名	場所
1	12	教師試験委員会	市ヶ谷
	12	教師試験	市ヶ谷
	13	任用試験	市ヶ谷
2	14〜15	会計監査	市ヶ谷
	20〜22	30-3常議員会	検討中
3	26	神学校のタペ	未定
	5	教職授任按手式	宣教百年記念会堂
6	5	神学教育委員会	市ヶ谷
	6	新任教師研修会	市ヶ谷
未定	8	ルーテル学院大学・神学校卒業式	三鷹
	21	教区総会	各教区